

## 2019J2 ■順位表■開幕前

&lt;松本、大分がJ1へ昇格&gt;

柏 (J1から降格)

長崎 (J1から降格)

横浜FC

町田

大宮

東京V

福岡

山口

甲府

水戸

徳島

山形

金沢

千葉

岡山

新潟

栃木

愛媛

京都

岐阜

琉球 (J3から昇格)

鹿児島 (J3から昇格)

&lt;熊本、讃岐がJ3へ降格&gt;

## 次回HomeGame

第3節 vs. ファジアーノ岡山

3/9(土) 15:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

## 大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱東京UFJ銀行隣り)

年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

## Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休:月曜日

## today's guest : モンテディオ山形

2018 J2 14勝14分14敗 勝ち点56:12位

## 直近の対決と結果

2018/11/04

J2-40節@長良川

岐阜 0-1 山形

## ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	モンテディオ山形
2018/11/17 J2-42節@長良川 岐阜 0-0 福岡	2018/12/05 天皇杯準決勝@ユアスタ 仙台 3-2 山形
2018/11/11 J2-41節@Kスタ 水戸 1-1 岐阜	2018/11/17 J2-42節@NDスタ 山形 1-1 大分
2018/11/04 J2-40節@長良川 岐阜 0-1 山形	2018/11/11 J2-41節@NACK 大宮 2-1 山形

●今年もまた、J2リーグが僕らの街に帰ってくる。昨シーズン、大木武監督2年目体制の下で前シーズン以上の成績を目指した我々がFC岐阜。そして実際に、シーズン前半は4連勝で一時は7位に立つなど好調を維持して11位で折り返したが、後半はエース・古橋亨梧の移籍が影響したこともあって、10連敗を喫するなど急失速。最終的には20位で終わり、なんとかJ2残留を果たしたが、2017シーズン・18位よりも悪い成績となってしまう。そして大木監督3年目体制となる2019シーズンは、今オフに13名を補強。大卒ルーキーなど若手選手が中心だが、#5川西翔太や#11前田遼一などのベテランも加入。中でも#11前田遼一は2年連続J1得点王(09~10年)・J1通算154得点を誇るストライカーで注目を集めている。

また、各ポジションを複数の選手で競わせる状況を作り出し、チーム全体の底上げを図るための補強になったと言えるだろう。しかし、昨シーズン42試合の出場時間で言えば、約4割を占める選手たちがチームを離れた計算になる。総得点では、8ゴールを挙げた田中パウロ淳一が山口に移籍したため、合計で5割以上の得点力の喪失となっている。大木監督の目指すサッカーに、いかに早く新旧の選手たちがチームとしてフィットしていくかどうか、そして昨年シーズンを通じて解消できなかった失点数の多さという課題を克服できるかどうか、FC岐阜の今シーズン序盤の鍵となるだろう。2018年シーズンは、21位・熊本と22位・讃岐がJ3に降格した。J3からの昇格組である琉球と鹿児島を除けば、J3に降格していないチームの最下位がFC岐阜という事実は受け止めなくてはならない。つまり昨シーズンの成績で言えば、岐阜がJ3降格の筆頭候補に挙げられてしまうのは、残念ながら仕方のないことだろう。この下馬評を覆すには、やはり結果を出していくしかない。しっかりと勝利を積み上げていくことで「今年のFC岐阜は違う」と周囲に認めさせていくためにも、この開幕戦は非常に重要だし、結果にこだわる必要がある。

さて、そのシーズン開幕戦の対戦相手はモンテディオ山形だ。昨年の最終成績は12位だが、天皇杯ではベスト4に輝いたチームだ。山形は2015シーズンにJ1から降格した後、過去3シーズンは中位に終わっているが、木山隆之監督3年目体制の今季は再びJ1昇格を目指す。昨季チーム得点王の小林成豪が移籍したものの、守備陣の多くは残留しており、チーム戦術の継続が図られているとみていいだろう。攻撃陣では、昨季9ゴールを挙げた#11阪野豊史と、G大阪から移籍した#10井出遥也を中心とした攻撃を展開すると思われる。

山形との通算対戦成績は、岐阜の3勝5分7敗・17得点24失点。ホーム戦でも2勝3分3敗・6得点7失点と若干岐阜に分が悪い成績となる。特に、木山監督が就任してからの成績は1分3敗・2得点8失点と散々な状態だ。昨年のホーム戦・11/4(日)第41節もオウンゴールを献上してしまい、0-1で敗戦。昨シーズンは天皇杯を含めて3連敗を喫した相手に今年こそはリベンジを果たして、今シーズンの幸先良いスタートに繋がりたいところだ。

山形の要注意選手には、先述の#11阪野豊史と#10井出遥也を挙げたい。一方の岐阜では、その山形の攻撃陣を封じる岐阜の守備陣や、14~16年の3シーズンを山形の主力選手として過ごした#5川西翔太の「恩返し弾」に期待したいところだ。

今年もまた、ホーム・長良川で勝つために、試合終了の笛が鳴るまで勝利を信じて諦めず、戦い続ける選手たちの背中を力強く後押しする、多くのサポーターの拍手と声援が必要だ。スタジアム全体でホームスタジアムを盛り上げ、今季最初の「万歳四唱」と歓喜を、選手たちと共に分かち合おう。

さあ今年も、長く厳しく激しく熱く、そして勝った負けたと一喜一憂する、全42試合・J2リーグ・2019シーズンが、いよいよ開幕する。(ささたく)

投稿募集!! [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

# キックオフ・パーティーに行ってきました

●先週の土曜日にリリースされた新チャント。そいつが、土曜日から月曜日の仕事でもエンドレスに脳内に流れる中、めざすのは岐阜グランドホテル。岐阜グランドホテル前のバス停で降りる客は思いのほか多く、中には見知ったクラブ・スタッフも。17時半に到着して受付を済ませ、ネームプレートを受け取りに行った先にいたのは、元SKEにしてウチのアンバサダーを務めていた町音葉嬢ではないですか！思わず見とれてしまった後でサインをお願いしようかと思ったけど、お仕事の邪魔をしては……と涙を飲んで自重。しかし、ホントにクラブ・スタッフやってんのな……。その横ではナンバサダーがいて、これまたソツのない対応ぶり(笑)。そんな感じで受付風景を堪能し、余裕がまして入場した会場内は、すでに半分以上埋まっていて、見知った顔を探すのに一苦勞。アナタ方、ちゃんと仕事してたんですか？去年まではあった会場内のフードコーナーは見当たらず。その分、テーブルが大幅に増えて、飲食系はホールスタッフが運んでくれるシステムに。出席希望者が100人以上増えたらしい。それだけ、スポンサー様も増え、関心を持ってくださる方が多くなったということ。ありがたいことです。インフルエンザ予防のため、「選手との握手、ハイタッチなどの直接の接触はご遠慮ください。」との案内が繰り返し流され、併せて、サインもナシよ？ということで、選手カードの手渡しと記念撮影のみとなったのはいささか残念だが仕方ないよね。新加入の、元日本代表にして大食漢としても名を馳せるお方の人気はさすがでした。人気がありすぎて選手カードもらい損ねた(苦笑)。

それにしても、個別の対応にソツがなくなってきたというか、挨拶にも年季が感じられるようになってきたなあ>新キャプテン。代表挨拶でも笑い取れてたし。でも、彼が6年目で一番の古株なのか……。感慨深い。米田コーチとも話が出来たし、メガネのカイケンはめっちゃイケメンだったし、半分くらいの選手としか会話、撮影、選手カード受け取りができなかったけど、それも仕方ない。新アンバサダーのスパガ・長尾しおり嬢のミニライブもあったし、散会后には恒例？の司会の方との写真撮影。今年も久世さんと伊藤寧々嬢のコンビ。スタジアムでもよろしくお願いします。イヤブックももらえたり、イーグル製菓様謹製の箱入りチョコレートももらえたり、招待券も5枚！これで参加費五千円は安いよね！さて、あとはシーケとレプユニの到着を待つだけだな。(ぐん)

●月曜に開催されたキックオフパーティーでも数名の選手やスタッフとお話する機会を得たのだけれど、誰もが口を揃えて言うのが「今シーズンはポジション争いが本当に激しい」ということ。「ちょっと練習で油断をすれば、ポジションは危うくなる」「週末に開幕戦があるのに、まだスタメンが誰になるのか分からない」など、選手たちにとっては大変だけれども、(少なくとも今のところは)僕らにとっては非常に楽しみな状況に。開幕スタメンの予想は、熱く激しいものになる。しかも、もともと大木監督は4-3-3をベース戦術としていて、そのバリエーションで4-2-3-1だったり4-2-1-3だったり戦ってきているんだけど、伝え聞く風の噂では、なんと『別のフォーメーションも試している』というのだ。…ほら、もう分からないでしょう？(苦笑)。昨シーズンから経験値のある選手を使うのか、それとも新たな選手に任せるのか。ベテランの経験値か、若手の勢いか…これこそ、開幕を迎えたサポーターが味わえる「最高のネタ」。あと少しで、そのメニューの全貌が明らかになるけれど、大木監督が悩みに悩み抜いて選んだであろう「最高のネタ」を、この開幕戦で心ゆくまで楽しみ、その活躍に叫んで拍手を送り、そして勝利の歓喜と美酒に酔いましょう！(ささたく)

# 今季のFC岐阜について

●さて、なんやかんやでいろいろあったような気もするが、のんびりと過ごせたシーズンオフもあったという間に終止符が打たれ、いよいよ開幕を迎えるリーグ戦。三回のキャンプをこなし、監督の意図は浸透したのか、選手同士の連携は深まったのか、と気になってしょうがないのは、キャンプはもちろん、練習すら見学に行っていないせいだろうか？いろいろ不安と期待が去来する今日この頃。それでも、何というか、今季はクラブ史上稀に見る、ピンポイントな良い補強をしたのではないか？そんな気がしてならない。

何より、待望のCF。大木サッカーに不可欠な人材、と独断で偏見でことあるごとに熱弁してきた存在が、ついに降臨。ボールが収まって、点の取れる選手。強くて、高く、足元の上手い選手。それが前田遼一という存在。コレで脚が速かったら……、いや、そんなこと言ったらバチが当たるか。全試合フル出場が出来るかどうかはわからないけど、間違いなく前線のレベルは上がる。昨季の途中から切り替えた、最終ラインからのロングボールも、格段に攻撃のバリエーションになりそう。

それ以外でも、中盤の底から前日までこなせる川西。昨季のJ3でめっちゃくちゃイケた富樫の加入は大きい。特に富樫は昨季のJ3をダントツで制覇した琉球からの獲得。絶対負けられない昇格組からの引き抜きというのが素晴らしい。フロント、グッジョブ！

即戦力を期待できる大卒組に加え、昨季の特別指定枠で才能の片りんを見せてくれた透馬くんの雄姿も早く見たい。さらに、航汰を引き留めることが出来たし、悠史も復活してくれた。歴代のメンバーと比べるだけなら、史上最高レベルの顔ぶれと言える。

ただ……。問題は、相手がある、ということだ。誤解を恐れずに言えば、ウチはJ2の最下位からの再出発だ。昨季、ウチより下位だったクラブはもういない。J3からの昇格組はいるが、ここ数年の昇格組の戦績がどうだったかはご存知のことだろう。いずれもJ2からJ1へ上がったクラブが苦勞したのとは正反対の快進撃。そういう勢いのあるクラブの他に出戻り組の長崎を含め、J1経験組は既にJ2の過半数を超えている。おまけに、J1のリーグ優勝を達成しているクラブまでいるのが今季のJ2。こういう21クラブと比較して、相対的にウチの補強が十二分に戦えると断言できるのか。いや、戦えるではなく、「勝てるのか？」を問わなければいけないだろうな。結果が出なければ、今度こそ……。未知数の才能にはワクワクするけど、それを計算するほど楽観的ではられない。

今季もキリキリと胃の痛む日々が続くのを想定しつつ、それでも、選手のがんばりと、スタジアムの興奮と、勝利の歓喜を堪能するために出来る限り現地に赴き、精一杯の応援をしたい。岐阜を愛し、応援するみなさん、今季も共に戦いましょう！

最後に、ひと言付け加えさせてください。先日、とあるSNSで「Jリーグに参入してからのマッチデー・プログラムと共に、岐大通をファイルに保存している。」という記述を拝見しました。その瞬間の驚きと喜び。言葉に出来ません。感動と同時に、自分の駄文が延々と残っているという事実に冷や汗も感じてしまいました。元より、身の丈に合った程度のモノしか書けませんが、今まで以上に文末まで読んでいただける投稿を心がけていきます。今後ともよろしくお祈りします！(ぐん)